

留 学 報 告 書

記入日：2016年06月12日

氏名	氏名：福地 陽介
留学先国	タイ王国
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学 人文学部 タイ語学科 (英) タイ語 英語
留学期間	2015年8月～2016年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2015年5月14日
明治大学卒業予定年月	2017年3月

留学費用項目	現地通貨(THB=3.4円)	円	備考
授業料	0THB	0円	学部間協定留学のため免除
宿舍費	75000THB	250000円	大学からの紹介されたアパート
食費	50000THB	170000円	1日3食とした場合
図書費	10000THB	34000円	教科書代、書籍等
学用品費	2000THB	6800円	制服、
教養娯楽費	2000THB	6800円	kindle電子端末購入
被服費	1000THB	3400円	下着等
医療費	0THB	0円	入院したが大学指定保険でキャッシュレスでした
保険費	25000THB	85000円	大学指定保険タイプB
渡航旅費	20000THB	68000円	JAL往復航空券(バンコク-成田)
雑費	10000THB	34000円	生活用品、掃除用具等
その他()	60000THB	204000円	タイ語語学学校(個人レッスン6か月分)
その他()		円	
その他()		円	
合計	255000THB	8670000円	

渡航関連

渡航経路	成田-バンコク(日本航空)
渡航費用	チケットの種類 オープンチケット 往路 34000円

	復路	34000円
	合計	68000円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。		
地球の歩き方2015バンコク		
滞在形態関連		
種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など		
アパート：BB Place 住所：168 Pracharat Phampen soi 6-8 Huai Khwang 10320 Bangkok 大学の最寄駅から3駅ほど離れた住宅地。 DOOR to DOORで30分くらい		
部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数： ）	
住居を探した方法		
留学の国際化からの紹介		
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）		
アパート契約時のデポジットや契約書はほとんどタイ語なので、タイ語と日本語を話せるタイ人と一緒に契約するか、留学先の国際化のスタッフに同行してもらったほうがよい。		
現地情報		
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？		
<input type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した；サミティバート病院（食中毒で入院したが、保険がおりてキャッシュレスだった。）		
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。		
ASEANセンターのセンター長の斎藤先生に相談した。授業の履修相談は現地の大学のアドバイザーに相談しました。		
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？		
外務省の渡航情報		
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？ 例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。		
アパートにWIFIがあるので月々料金を払って使っていた。大学でも構内にWIFIがあるし、ASEANセンターにもあるのでネット環境には困らなかった		
現地での資金調達はどのように行いましたか？ 例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。		
現地で口座開設はせず、国際キャッシュカードを使った。（CitiBank のカード）バンコク支店が大学からすぐ近くにあるので毎月おろしていた。		
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。		
日本の新聞や本を読みたくなるが、現地で買うと高いので Kindleなどの電子書籍を日本から持っていくことをおすすめします。たいがいの商品はバンコクでも買えますが、日本の2倍くらいします。		

進路について

進路について
進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
進路決定の際に参考にした資料，図書，期間など
四季報、業界地図 日本経済新聞
就職を選択した方は，差し支えなければ内定先を教えてください。また，その企業を選んだ理由も教えてください。 (内定を得た企業すべての名前，あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
現在選考中だが，主に専門・総合商社、クレジットカード金融系をみています。
就職活動中・終了時に関わらず，就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。 例：留学中の就職活動へ向けた準備，帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い，留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
面接にて、商社やメーカーなどの海外に進出している企業の人事担当の多くは、タイ王国に赴任経験があることが多いので、タイ留学していましたと伝えると、結構話が弾む。今年は6月解禁だったため、一度4月のソクランの時期に10日ほど日本に帰って第一希望の企業の説明会に参加した。バンコクは駐在員の方がとても多いので、話を聞く機会が多かった。
進学を選択した方は，差し支えなければ進学先を教えてください。
進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備，試験対策等）がありましたらお書きください。
その他を選択した方は，留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ，記入してください。
24単位（ 科目）	<input checked="" type="checkbox"/> 16（予定）単位（ 科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）

履修した授業科目名（留学先大学言語）	introduntion to western culture
履修した授業科目名（日本語）	西洋思想史
科目設置学部	人文学部西洋言語学科
履修期間	1学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2（未定）単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	講義+グループワーク
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	David Pinkney
授業内容	ローマ帝国時代から産業革命までの西洋の文化背景と社会背景を学ぶ
試験・課題など	レポートが2回と出席点重視の成績がでる。

感想を自由記入	レポートの分量がきつかった。担当教授が日本語を話せたので授業が理解できないときは気軽に質問で来た。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Management of Information Technologies for Tourism
履修した授業科目名（日本語）	ツーリズムのためのITマネジメント
科目設置学部	international college for sustainability studies
履修期間	1 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義とグループワーク
授業時間数	1 週間に180分が1回
担当教員	Navidreza Ahadi
授業内容	プレゼンテーションと小テスト3回と期末テストで成績がきまる
試験・課題など	学生同士のケーススタディとグループワークが多く、英語で討論をする力が身につく。
感想を自由記入	学生同士のケーススタディとグループワークが多く、英語で討論をする力が身につく。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Cultural diversity in tourism behavior
履修した授業科目名（日本語）	ツーリズム行動学における文化多様性
科目設置学部	international college for sustainability studies
履修期間	1 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義とグループワーク
授業時間数	1 週間に180分が1回
担当教員	Yan Zhao
授業内容	アジア人と欧米人の所作や文化の違いを心理学観点から考える。
試験・課題など	エッセイ型の試験が2回と毎回のプレゼンテーションの加点を合わせて成績が出る。
感想を自由記入	授業自体はそれほど難しくないが、毎回プレゼンテーションがあるため、グループで放課後集まるが多かった。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Discussion and Presentation
履修した授業科目名（日本語）	プレゼンテーションとディスカッションの基礎
科目設置学部	人文学部西洋言語学科
履修期間	1 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	ディスカッションとプレゼンテーション
授業時間数	1 週間に180分が1回

担当教員	Kit Johnson
授業内容	毎回テーマに沿った英単語を学びそれを使って授業後半にディスカッションをする
試験・課題など	プレゼンテーション3回とミニテストが2回
感想を自由記入	効果的なプレゼンテーションとディスカッションの基礎を学ぶことができた。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	end user behavior
履修した授業科目名（日本語）	エンドユーザー
科目設置学部	College of Social Communication Innovation
履修期間	2 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Emilie Toppinen
授業内容	消費者行動をケーススタディを用いて
試験・課題など	エッセイと期末テストで成績評価
感想を自由記入	校外学習にもいったので面白かったです
履修した授業科目名（留学先大学言語）	contemporary Aesthetics
履修した授業科目名（日本語）	美学
科目設置学部	College of Social Communication Innovation
履修期間	2 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義とゲストスピーカーの聴講
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Sammitie Suk
授業内容	様々なアートを通して美とは何かを探る
試験・課題など	校外学習後のレポートと期末テスト
感想を自由記入	毎回バンコクの美術館やギャラリーに行くのでタイの作品やアーティストとして会える機会があった。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Laws and Code of Ethics in tourism business
履修した授業科目名（日本語）	旅行業における法律と
科目設置学部	international college for sustainability studies
履修期間	2 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義

授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Tanawan Vorasingha
授業内容	タイの法律と航空法について講義形式とケーススタディを通して学ぶ
試験・課題など	グループでのプレゼンテーションと中間、期末テスト
感想を自由記入	タイで会社を作りたい方はぜひ受講すべき

履修した授業科目名（留学先大学言語）	English for business correspondence
履修した授業科目名（日本語）	ビジネスレターの書き方とその英語
科目設置学部	人文学部
履修期間	2学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Narathip Thumawongsa
授業内容	テキストに沿ってビジネスレターの書き方を学ぶ。
試験・課題など	平常点は毎回授業後に先生に習った文書を使ってメールを送るのが出席扱い。
感想を自由記入	テストがほぼ暗記なので覚えるのが得意な人は受けてもよいが、めちゃくちゃ大変だった。ちなみに先生は女性の格好しているが、実は元男という。

留学に関するタイムチャート

2014年 1月～3月	大学の文化交流プログラムで、1か月アメリカのUCLAに語学留学
4月～7月	授業と留学資金捻出のためのアルバイト
8月～9月	アルバイトとIELTSの受験
10月～12月	バイト授業の両立
2015年 1月～3月	留学の志望動機作りと願書の作成と面接→内定をもらいタイ語を勉強時始める
4月～7月	授業とタイ語の両立
8月～9月	渡航→アパート探し→語学学校探し、等勉強はあまりできなかった
10月～12月	中間テストの大変さと暑さに苦しむ。日系企業の方とアポ取ってお話する
2016年 1月～3月	年末年始はインドに旅行に行く。新学期は授業選びと就活の業界研究
4月～7月	ソクランの時期に就活するために一時帰国。期末テストに向けての勉強とエントリーシート の作成に追われる。5がつ半ばに帰国し現在は就活中

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>情報コミュニケーション学部の特徴であるなんでも好きな学問を学べるという良さ と専門性がないという欠点を補うために学部間協定で行けるタイ王国に留学した。も ともとはタイではなく英語圏に行く気があったが、発展途上国の現状を知るのもわるく ないかと思い留学をした。将来、海外で働きたいという漠然とした思いを強くするき っかけ作りで留学しようと思っていた。学生の時間があるうちに世界をもっと知りた いと感じていた。結果としてASEAN地域のリアルを体感できたのでタイに留学し てよかった。</p>
<p>留学のためにした準備、 しておけば良かったと思 う準備</p>	<p>日本のことをもっと知っておくべき。国内の旅行をしたり、ボランティア活動をし たりと外国人からどんな質問が来ても答えられるようにしといたほうがよい。タイ語が できればよかったと思うが、べつにできなくてもタイの学生は英語を使えるので、英 語でコミュニケーションをとることができる。話す英語と書く英語の能力は全く別物 なので、TOEICばかり私は受けてましたが、スピーキング能力を見るテストも 受けたほうが良いと思う。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>学部間協定でタイ王国と韓国、香港の大学と協定留学があるが、なぜ私がタイを選 んだかということ、新日家が多いし、アメリカには1か月語学留学していたため、長期間 で留学行くなら日本より貧しい国にチャレンジしてみたいという単純な動機だった。 生活水準は貧しいが、大学生の質は高く、日本の学生より英語は話せると感じた。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>バンコクの中心地にある大学なので、割とお金持ちの息子、娘が多い気がする。タイ 人の学生は内輪で集まる傾向が強いので、意外とシャイだった。こちらから積極的に 話しかける必要があったので、最初は距離があったが、次第に打ち解けていき、授業 終わりには一緒にご飯を食べていくことが多かった。日本人の留学生は明治大学のほ か東京外語大学の留学生しかいないので、日本人と話す機会はほとんどなかった。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>寮ではなくアパートを自分で契約していたので、一人暮らしだったが、特に不自由は なかった。温水シャワーも水洗トイレもあったし、部屋もきれいだった。唯一欠点 があったとすればキッチンがなく、料理ができないということと、食べ物を放置してお くといつの間にか、アリの湧いているということが多々あった。</p>
<p>交友関係</p>	<p>学部間協定留学なので明治大学にも留学経験がある現地の学生もいるので、最初はサ ポートしてくれたし、日本語を話せるのでとてもありがたかった。しかし日本語をは なせる彼らといつも一緒にいては自分の留学した意味がなくなるので、なるべく別の 授業をとり、英語とタイ語しか話さない環境に身を置いた。授業をとっている仲間か らサッカーに誘われ、毎週土日はフットサルをしていた。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>好きな科目を実際に授業に出て履修を決めることができたし、日本語を話せるアドバ イザーがいたので全然問題なかった。他学部履修もできるので自分は、英語を学ぶ授 業とツーリズムマネジメントを学ぶ授業をとっていた。開講される授業はタイ語が多 いですが、英語で行われる授業もあるので特に不安要素はなかったです。授業の内容 はとても難しかったが、中間テストや期末テストは簡単だった。</p>

<p>課題・試験について</p>	<p>一コマ3時間の授業なのでそれ相応の宿題やレポートがでる。毎回プレゼンテーションやディスカッションがある授業もあれば、期末一発の授業もあった。授業の予習復習で週末はつぶれることも多かったし、語学学校にも通っていたので、要領よくこなすことを考えた。試験自体は難しくなかったし、中間テストと期末の2回で評価されるので、失敗しても挽回できるチャンスがあった。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>ジムに通ってトレーニングしていた。マラソン大会や駅伝にも参加した。交通量の多いバンコクでは空気が悪く、野外での運動は厳しい。夕方からよるにかけてジムに行っていた。日系企業の駐在員の方にお話を聞き、海外で働くことの楽しさや難しさを教えてもらった。就活の相談にも乗ってもらったし、将来海外で働きたいという気持ちますます強くなった。</p>
<p>ある平日のスケジュール</p>	
<p>ある休日のスケジュール</p>	
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと</p>	<p>日本で4年間、バイトと大学の授業をうけているだけでは、世界の学生と張り合えません。将来何をやりたいか明確なビジョンを持ってなくても、新しい環境に飛び込んでみてほしいと思います。英語ができなくても友達は作れますし、日本にいるより時間の流れが遅く感じます。日本から離れて生活するのも悪くはないです。就活のネタにもなりますし、面接官の中にはタイに駐在経験があるかたもいて、話が弾むことも多いです。物価も安いし、英語もタイ語も使えるハイブリッドな留学をできるのはタイ王国だけだと私は思います。</p>

毎週土日のフットサル



マラソン大会参加



タイの友人たちと!

